

ICAブリスベン大会日本セッション・ワークショップ概要

1 大会スケジュール

(1) 会期：平成24年8月20日（月）～24日（金）

(2) 旅行日程

期日・時間	午前			午後			夕方
8月19日(日)							日本出発*
8月20日(月)	ブリスベン到着			登録受付			歓迎レセプション
8月21日(火)	開会式	基調講演	セッション	昼食	セッション	まとめ	
8月22日(水)	基調講演		セッション	昼食	セッション	まとめ	
8月23日(木)	基調講演		セッション	昼食	セッション	閉会式	
8月24日(金)	ワークショップ／視察			昼食	ワークショップ／視察／年次総会		
8月25日(土)	帰国*						

*一部参加者は別日程

2 セッション

(1) 日程：平成24年8月21日（火）～23日（木）

(2) 開催場所：ブリスベン・コンベンション・エキシビション・センター

(3) 日本からは合計9名（当館派遣8名、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会派遣1名）の講師が東日本大震災、公文書管理法制、デジタルアーカイブ等をテーマとした発表を行う。各講師の講演スケジュール（予定）は以下のとおり。

2012年8月21日（火） 於 P3 会議室	
16:00~16:30	高野明彦 国立情報学研究所教授、連想情報学研究開発センター長 「検索から連想へ—知識の蔵を繋ぐ方法」(発表 20 分、質疑応答 10 分)

2012年8月22日（水） 於 M2 会議室	
11:00~11:25	小池聖一 広島大学文書館長・教授 「日本の大学アーカイブス—広島大学文書館を事例に一」(発表 20 分、質疑応答 5 分)
11:25~11:50	岡本信一 福岡大学教授、前内閣府大臣官房公文書管理課長 「公文書管理法の制定の意義と施行後の課題」(発表 20 分、質疑応答 5 分)
11:50~12:10	平野健一郎 アジア歴史資料センター長 「デジタル・アーカイブズと歴史理解および歴史研究」(発表 15 分、質疑応答 5 分)
12:10~12:30	風間吉之 国立公文書館業務課電子情報第二係長 「国立公文書館デジタルアーカイブ」(発表 15 分、質疑応答 5 分)

2012年8月22日(水) 於大ホール	
14:00~14:15	高山正也 国立公文書館長 「悲慘から明日への希望の発見:東日本大震災からの復興への歩み」(発表 15分)
14:15~14:30	佐々木和子 神戸大学地域連携推進室研究員 (全国歴史資料保存利用機関連絡協議会から派遣)(発表 15分)
14:30~14:50	長坂俊成 (独) 防災科学技術研究所主任研究員、リスク研究グループ長 「東日本大震災における公民連携による災害デジタルアーカイブの取り組み」(発表 20分)
14:50~15:00	上記三講師への質疑応答
同 於 P2 会議室	
16:45~17:15	白井哲哉 筑波大学図書館情報メディア研究系准教授 「日本の地方自治体における公文書管理制度の整備と公文書館の設置へ向けた取り組み」(発表 20分、質疑応答 10分)

3 修復ワークショップ

(1) 日程：平成24年8月24日(金)

第1回 09:30~12:00 (25名程度)

第2回 13:30~16:00 (25名程度)

(2) 開催場所：クイーンズランド州立公文書館修復室(大会会場からバス送迎有り)

(3) 内容

1) 講演「日本における修復技術の変遷」(30分)

講師 増田勝彦 昭和女子大学教授

2) 修復の実演(100分)

講師 中島郁子 国立公文書館業務課修復係長

阿久津智広 国立公文書館業務課修復係員

有友至 国立公文書館業務課修復専門員

主に以下の3つの基本修復技術を実習する。

繕い：虫損の穴を和紙で埋める

裏打ち：傷んだ資料の裏面に和紙を貼り付ける

綴じ：糸による日本の本の綴じ方

3) 質疑応答(20分)